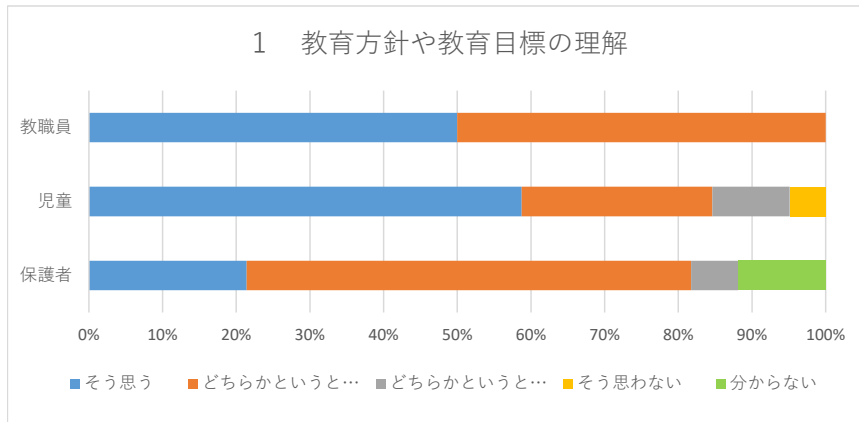


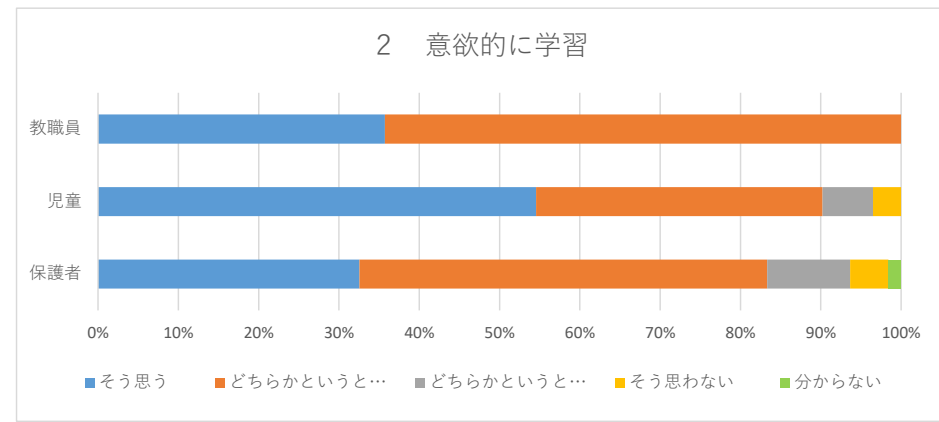
令和7年度

学校評価の結果と考察（保護者・児童・教職員）

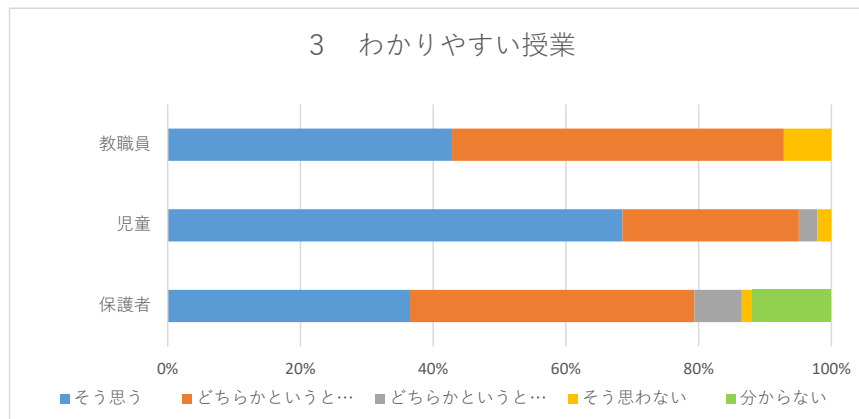
※（ ）内の%数値は昨年度との比較



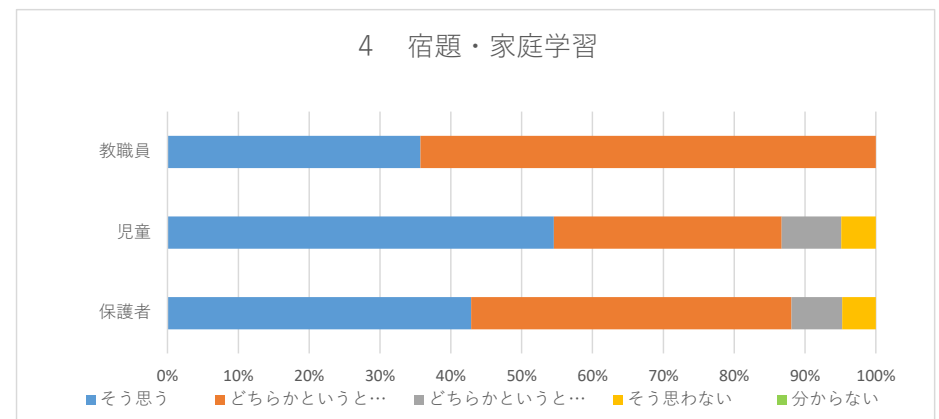
保護者の肯定的評価が81.7%（+5.0%）、児童の肯定的評価が84.6%（-5%）となった。昨年度は保護者への周知が低かったことから、学校だより、ホームページ、全校朝会等で説明をしてきた。今年度は児童への定着が低くなった為、大森小の伝統やよいところについても触れながら、今年度の活動を維持しながら更なる周知の機会を増やしていきたい。



保護者の肯定的評価83.3%（+11.8%）、児童の肯定的評価は90.2%（-2.7%）となった。保護者の評価は大きく上がった。児童は下がっているものの高い水準を維持している。児童の意欲を高めるためには基礎基本の学力の定着が不可欠であるが、今年度も「計算スタンプラリー」を実施し、楽しく基礎学力が定着するよう工夫をおこなっている。また、ICTを用いて児童が学習に興味を持ちやすいよう、授業を改善している。

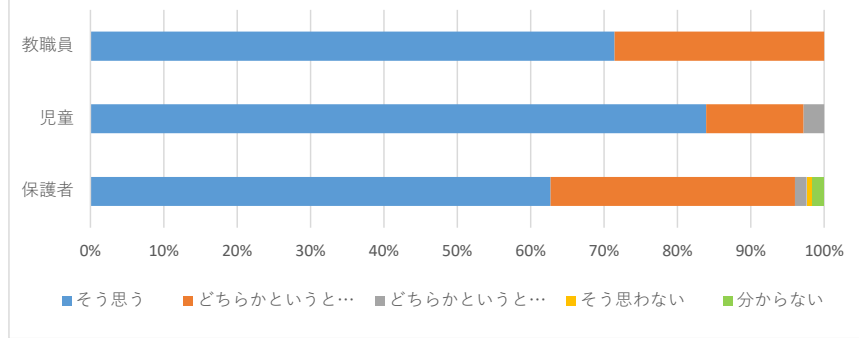


保護者の肯定的評価79.4%（+4.4%）、児童の肯定的評価は95.1%（-1.0%）。ICT機器の授業での効果的な活用を各担任が推し進めることで、視覚的な補助が増え、学習内容の理解につながっている。保護者の「わからない」という回答が11.9%あった。授業参観などの行事やたよりやHPなどで学校の様子が伝わるように、さらに周知していきたい。



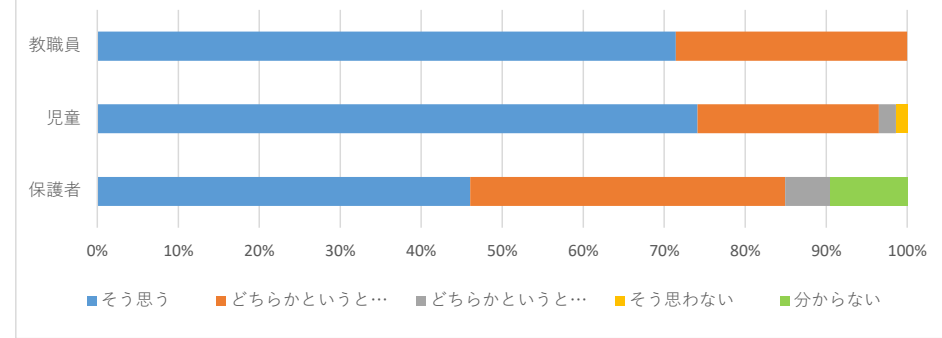
保護者の肯定的評価88.1%（+1.9%）、児童の肯定的評価が86.7%（-6.9%）となった。昨年度見られた親と子の認識の差はなくなった。宿題については、どの学年も計画的に出している。学年×10分間は机に向かうよう保護者会や学校・学年だよりで呼びかけている。保護者の方の協力を得ながら定着していると思われる。1割強の否定的な意見があるので、引き続き声をかけていくことは重要である。

5 友達を大切にする



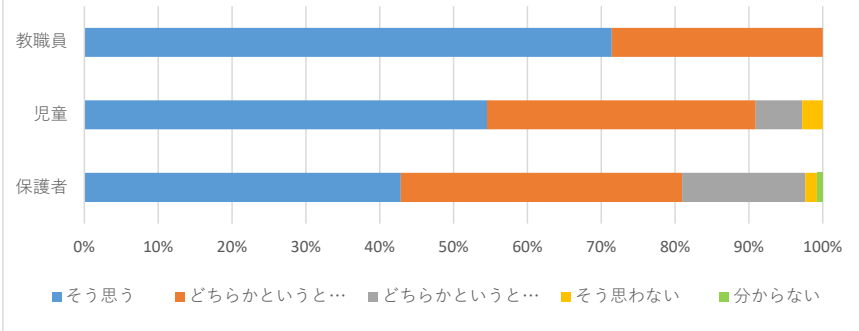
保護者の肯定的評価は96.0% (-4.0%)、児童の肯定的評価97.2% (-2.2%)。全体的に肯定的評価が高く維持できている。日頃の生徒指導、道徳教育の充実、人権週間での取り組みで友達を大切にすることが徐々に高まってきている。また、学年を超えた縦割り活動も他人を思いやる気持ちを育む良い機会となっている。

6 心の教育



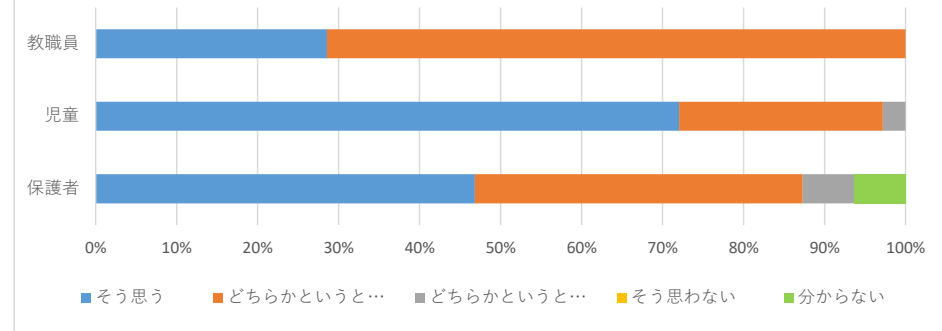
保護者の肯定的評価84.9% (-9.1%)、児童の肯定的評価96.5% (-2.8%)。前項の「友達を大切にする」といった部分では好評価だが、それ以外の精神的な面での未熟さが結果から読み取れる。他人へ向ける心だけではなく、より良い自分になろうとする「豊かな人間性を育む」ための心の教育を、あいさつやそうじ、日々の振り返りといった学校生活の中で意識できるよう取り組んでいきたい。

7 健康・生活習慣



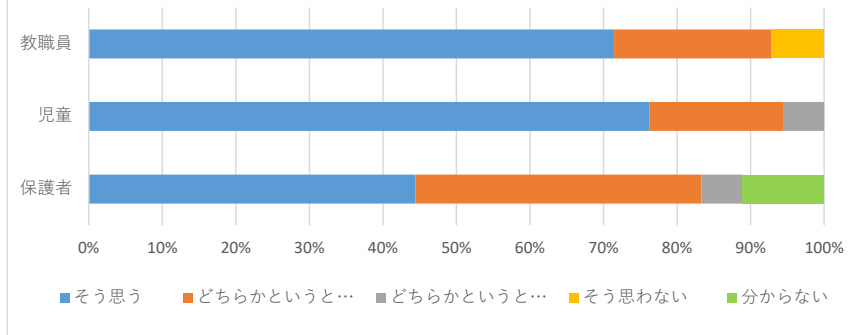
保護者の肯定的評価81.0% (+0.1%)、児童の肯定的評価90.9% (-0.1%)。昨年度と変わらない評価だが、昨年度よりも学年閉鎖が多かった。流行の仕方によって左右されてしまうが、病気に負けない強い体を作るといった面はよく行っている。保護者と児童の差は、主に生活習慣の点だと予想される。市栄養士を招いての食育教室、養護教諭による性教育、歯科検診を通してのブラッシング指導などだけでなく、睡眠時間や遊ぶ(ゲーム)時間などについても声掛けをしていきたい。

8 一人一人を大切にした指導



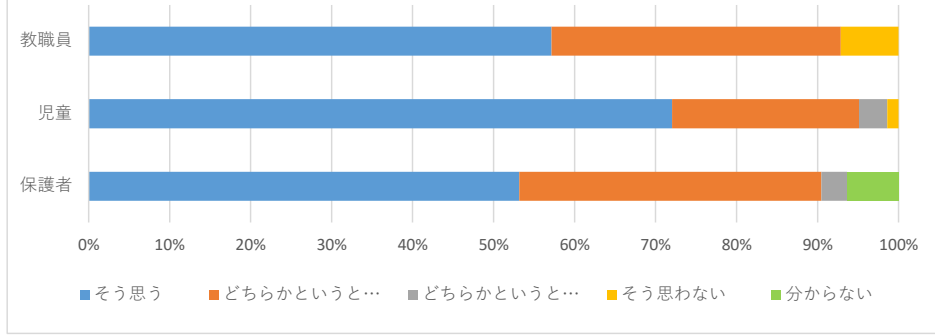
保護者の肯定的評価87.3% (-5.8%)、児童の肯定的評価97.2% (-1.5%)。児童は微減だがとても高い評価である。保護者とは10%程の開きがあるので、学校での様子やできごとをもっと保護者に伝えていく必要がある。必要に応じて、連絡帳や電話など適切な方法で、保護者と連携し、個に応じた指導に努めていく。

9 いじめへの対応



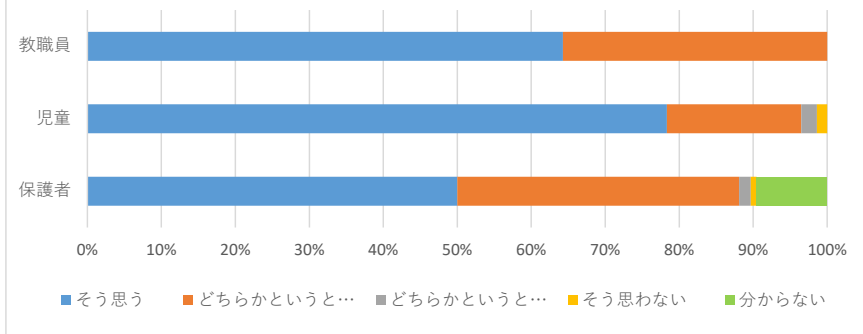
保護者の肯定的評価83.3% (-2.0%)、児童の肯定的評価94.4% (-2.4%)。保護者と児童の評価に差があるのは、児童が直接ではなく、保護者を通して学校(担任)に相談する事例があるからだと考察する。教職員でも「そう思わない」と一定数の回答があるのも当てはまる。各種のアンケートからだけでなく、日頃から教職員に相談しやすい体制(仕組み)や子どもとの関係づくりに努力し、いじめの早期発見・対応・解決に取り組んでいく。

10 困ったときに話を聞いてくれる



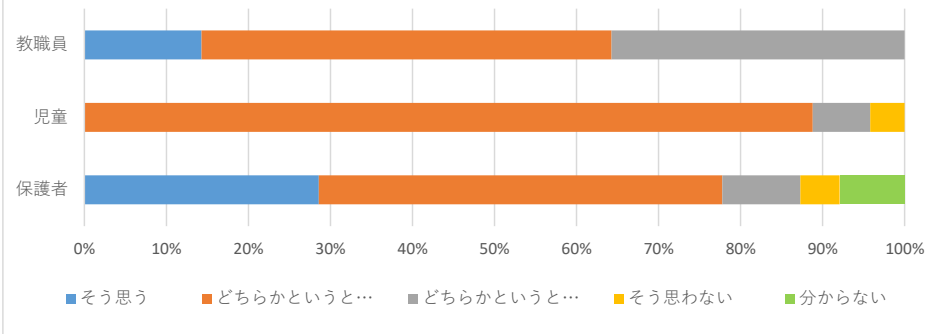
保護者の肯定的評価90.5% (-0.9%)、児童の肯定的評価95.1% (+1.1%)。保護者・児童ともに高い評価を得ることができた。今後も、担任との相談しやすい人間関係づくりを軸に、他の職員への相談しやすい環境づくりやスクールカウンセラーの活用、SOSの出し方教育など、困っている悩んでいる子どもの心のよりどころをたくさん用意していく。

11 事故防止・安全教育



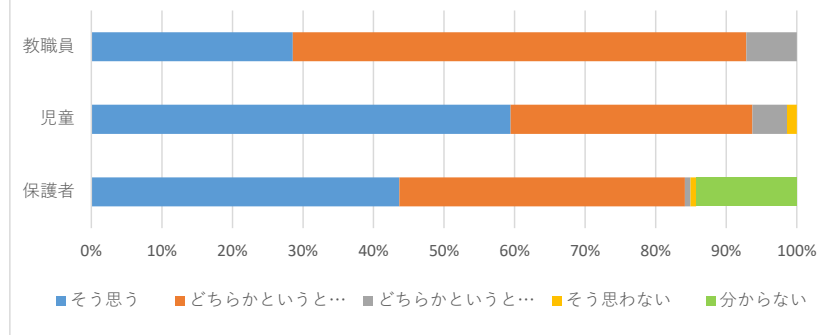
保護者の肯定的評価88.1% (+0.2%)、児童の肯定的評価96.5% (-2.9%)。避難訓練を実施し自分の命は自分で守れるよう取り組んでいる。登校指導、交通安全教室、通学路の点検といった校外だけでなく、廊下の歩行の仕方や校内安全点検(毎月10日)を実施し、事故防止に努めている。

12 学校の施設設備



保護者の肯定的評価77.8% (-2.4%)、児童88.8% (-9.9%)。大規模改修工事が本格的に始まり、多くの行事等で影響が出ている。駐車場が使えなくなった昨年度は評価が大幅に下がったが、本年度は大きく変動することはなかった。教室が仮設棟となったり、特別教室も使えない時期があったりする中でも、できる限りの支援をして、児童や保護者が感じる不便さを和らげていく。来年度は工事の終了、新しいタブレット等、設備が一新されるので、児童・保護者ともに安心・満足できるように今から準備をしていく。

1.3 地域の施設や人材活用



保護者の肯定的評価84.1% (+3.9%)、児童の肯定的評価93.7% (-3.1%)。学習の一環として、市役所、警察署、消防署、クリーンセンター等の公的施設だけでなく、学校周辺の事業所にも見学させてもらっている。また、各種ボランティアで、保護者だけでなく地域の方々にも協力いただいている。各種団体からも講師として招き、児童に授業や講話を行っている。

【まとめ】

①教育方針や教育目標を理解している	【保】81.7% (+5.0)	【児】84.6% (-6.5)
②意欲的に学習している	【保】83.3% (+11.8)	【児】90.2% (-2.7)
③授業がわかりやすい	【保】80.3% (+5.3)	【児】95.1% (-1.0)
④宿題や家庭学習に取り組んでいる	【保】88.1% (+1.9)	【児】86.7% (-6.9)
⑤友だちを大切にしている	【保】96.0% (-4.0)	【児】97.2% (-2.2)
⑥心の教育に努めている	【保】84.9% (-9.1)	【児】96.5% (-2.8)
⑦健康に気をつけて生活している	【保】81.0% (+0.1)	【児】90.9% (-0.1)
⑧一人一人を大切にしたい指導をしている	【保】87.3% (-5.8)	【児】97.2% (-1.5)
⑨いじめにきちんと対応している	【保】83.3% (-2.0)	【児】94.4% (-2.4)
⑩困ったときに話を聞ってくれる	【保】90.5% (-0.9)	【児】95.1% (+1.1)
⑪事故防止や安全教育に努めている	【保】88.1% (+0.2)	【児】96.5% (-2.9)
⑫学校の施設設備は整っている	【保】77.8% (-2.4)	【児】88.8% (+0.5)
⑬地域の施設や人材を活用している	【保】84.1% (+3.9)	【児】93.7% (-3.1)

学校への関心が高まってきた結果が評価に表れている。保護者は評価が高くなったものが多いが、子ども個人に関する質問でポイントを下げている。これは、関心が高まった結果、学校での取り組みや対応がしっかりと評価された結果だと考える。これを真摯に受け止め、児童一人一人に対して丁寧に指導・対応していくことを再確認していきたい。また、児童の結果は軒並み下がっているが多くの児童数減少による影響の範囲のものが多い。大きくポイントを下げたのは①④である。①については、「めざす児童像」を中心に各学級で共有確認していきたい。④については、家庭で取り組みやすい内容・量の調節をもとに、家庭学習への取り組み方を全校で共通理解していく。今後も引き続き、保護者や地域の方々とは協力し合い、「豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子ども」の育成に努めていく。